

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名	株式会社ヨロズ	上場取引所	東
コード番号	7294	URL	http://www.yorozu-corp.co.jp
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)志藤 健	
問合せ先責任者	(役職名)取締役副社長執行役員財務部長	(氏名)佐草 彰	(TEL) 045 (543) 6802
四半期報告書提出予定日	平成30年2月9日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	126,937	3.2	3,637	△14.0	4,432	△2.3	2,802	△1.9
29年3月期第3四半期	122,961	△3.3	4,231	△39.4	4,535	△24.9	2,855	△11.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 6,004百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △7,858百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	117.88	116.13
29年3月期第3四半期	116.59	115.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	174,455	97,663	47.0
29年3月期	167,171	93,759	46.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 82,068百万円 29年3月期 78,446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	18.00	—	40.00	58.00
30年3月期	—	25.00	—		
30年3月期(予想)				11.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,800	2.4	5,550	△12.3	5,450	△13.0	2,400	△39.7	100.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	25,055,636株	29年3月期	25,055,636株	
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,285,877株	29年3月期	1,285,877株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	23,769,759株	29年3月期3Q	24,489,730株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では景気拡大が持続したものの、米国政権の政策運営動向、欧州の政治情勢への懸念や地政学的リスクの顕在化などがありました。また、中国及び新興国では景気減速の兆しが見られ始めました。

一方、日本経済は、企業収益や雇用環境の改善が継続しており、緩やかな回復基調となりました。こうした中、無資格検査やデータ改ざんなど「日本のモノづくり」への信頼を揺るがす多くの問題が顕在化しました。

当社グループが関連する自動車業界におきましては、生産の状況は、中国、ブラジルでは増加傾向となっておりますが、米国では減速に転じ、その他地域では横ばいとなっております。国内市場では、新車販売の増加などにより、全体としては堅調に推移いたしました。一部では無資格検査問題の影響により10月以降の生産・販売が落ち込みました。

このような状況下におきまして、当社グループは中期経営計画「Yorozu Spiral-up Plan 2017」の最終年度として計画に掲げた諸施策を継続実施しているところであります。

当第3四半期の売上高は、前年同期比3.2%増の126,937百万円となりました。利益面では、米国テネシー拠点では収益改善が進んだものの、アラバマ新拠点での立上費用の発生やメキシコでの償却負担増加、ブラジル、インドネシアでの収益悪化などにより、営業利益は前年同期比14.0%減の3,637百万円、経常利益は、前年同期に比べ2.3%減の4,432百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益も、前年同期に比べ1.9%減の2,802百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の為替換算レートは、111.89円/ドル（前第3四半期連結累計期間108.55円/ドル）であります。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

①日本

主要得意先の10月以降の減産影響はあるものの、新車効果による部品売上の増加や金型・設備売上の増加などにより、売上高は前年同期比14.3%増の46,224百万円、営業利益はロイヤルティ収入の増加などにより、前年同期比15.2%増の3,367百万円となりました。

②米州

ブラジルでの生産の増加はあるものの、米国やメキシコでの生産の減少などにより、売上高は前年同期比2.8%減の56,939百万円となりました。損益面では、米国での労働市場の逼迫に伴う離職者の増加とそれに伴う生産性の低下は改善されつつありますが、2017年1月より稼働を開始したヨロズオートモーティブアラバマ社(YAA)の立上時コストやメキシコ2拠点の工場拡張による償却費負担増、ブラジルにおける連続した新車立ち上げに伴う費用の増加などにより、前年同期に比べ486百万円減の1,686百万円の営業損失となりました。

③アジア

タイ、インドネシアでの生産の減少があったものの、中国での生産の増加などにより、売上高は前年同期比5.7%増の39,747百万円となりました。営業利益は中国を除く各国の生産減少の影響などにより、前年同期比20.7%減の1,732百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ4,315百万円減少の67,703百万円となりました。これは、「製品」が2,209百万円増加したものの、「現金及び預金」が7,775百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ11,598百万円増加の106,751百万円となりました。これは、「有形固定資産」の「建設仮勘定」が6,304百万円減少したものの、「機械装置及び運搬具」が8,451百万円、「建物及び構築物」が8,356百万円増加したこと、また、株価の上昇により「投資その他の資産」のうち、投資有価証券が1,940百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ7,283百万円増加の174,455百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ8,729百万円減少の46,937百万円となりました。これは、「電子記録債務」が2,599百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が5,250百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ12,108百万円増加の29,853百万円となりました。これは、「長期借入金」が11,947百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ3,378百万円増加の76,791百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ3,904百万円増加の97,663百万円となりました。これは、「株主資本」のうち「利益剰余金」が1,257百万円増加し、「その他の包括利益累計額」のうち「その他有価証券評価差額金」が1,353百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成29年11月13日の第2四半期決算発表時に公表いたしました平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の通期業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期 連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (平成29年11月13日発表)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
	173,000	5,650	6,000	3,450	145.14
今回修正予想(B)	171,800	5,550	5,450	2,400	100.97
増減額(B-A)	△1,200	△100	△550	△1,050	—
増減率(%)	△0.7	△1.8	△9.2	△30.4	—
前期実績 (平成29年3月期)	167,723	6,327	6,265	3,980	163.73

2. 修正の理由

通期の連結業績見通しにつきましては、当第3四半期の実績及び最近の事業環境を踏まえ、売上高及び営業利益は、日本における主要得意先の減産影響やブラジルにおける連続した新車立ち上げに伴う費用の増加などを織り込みました。経常利益はこれらに加え、最近の米ドルに対する円安やメキシコペソ安の影響を織り込みました。更に親会社株主に帰属する当期純利益は、米国における法人税率の引き下げ決定に伴う税効果の見直しなどを織り込みました。

なお、当連結業績予想における海外子会社財務諸表の換算は、次の為替レートを前提としております。

1 USドル=112.16円、1 メキシコペソ=5.95円、1 タイバーツ=3.31円、1 中国元=16.62円・・・(注1)

1 ブラジルリアル=34.30円、1 インドルピー=1.70円、1 インドネシアルピア=8.20円・・・(注2)

(注1) 12月決算のため換算レートは確定しております。

(注2) 3月決算のため平成29年4月～平成30年3月の予想平均レートによっております。

*上記の予想は、本資料の発表時における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,197	17,421
受取手形及び売掛金	19,810	20,358
電子記録債権	2,112	2,282
製品	4,296	6,506
原材料及び貯蔵品	787	1,004
部分品	3,006	2,844
仕掛品	7,663	7,637
その他	9,152	9,657
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	72,018	67,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,872	21,229
機械装置及び運搬具（純額）	38,117	46,568
建設仮勘定	24,087	17,783
その他（純額）	6,524	5,747
有形固定資産合計	81,601	91,328
無形固定資産	693	572
投資その他の資産	12,857	14,850
固定資産合計	95,152	106,751
資産合計	167,171	174,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,429	15,352
電子記録債務	7,660	5,061
短期借入金	13,428	13,962
1年内返済予定の長期借入金	8,000	2,750
未払法人税等	1,449	361
賞与引当金	1,257	1,395
役員賞与引当金	74	75
その他	7,368	7,979
流動負債合計	55,667	46,937
固定負債		
長期借入金	14,294	26,241
退職給付に係る負債	1,534	700
その他	1,916	2,911
固定負債合計	17,744	29,853
負債合計	73,412	76,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,200	6,200
資本剰余金	10,231	10,174
利益剰余金	66,975	68,232
自己株式	△1,836	△1,836
株主資本合計	81,570	82,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,758	5,112
為替換算調整勘定	△6,361	△5,403
退職給付に係る調整累計額	△521	△412
その他の包括利益累計額合計	△3,124	△703
新株予約権	448	553
非支配株主持分	14,863	15,041
純資産合計	93,759	97,663
負債純資産合計	167,171	174,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	122,961	126,937
売上原価	108,451	112,823
売上総利益	14,509	14,114
販売費及び一般管理費	10,277	10,476
営業利益	4,231	3,637
営業外収益		
受取利息	227	259
受取配当金	173	225
為替差益	—	800
その他	90	108
営業外収益合計	491	1,395
営業外費用		
支払利息	104	240
為替差損	69	—
子会社開業準備費用	—	354
その他	12	5
営業外費用合計	187	599
経常利益	4,535	4,432
特別利益		
固定資産売却益	1	14
投資有価証券売却益	—	25
特別利益合計	1	40
特別損失		
固定資産廃棄損	17	31
減損損失	18	8
環境対策費	—	23
その他	0	0
特別損失合計	36	63
税金等調整前四半期純利益	4,501	4,409
法人税等	1,232	1,009
四半期純利益	3,268	3,399
非支配株主に帰属する四半期純利益	413	597
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,855	2,802

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	3,268	3,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,003	1,353
為替換算調整勘定	△12,286	1,123
退職給付に係る調整額	155	127
その他の包括利益合計	△11,127	2,605
四半期包括利益	△7,858	6,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,120	5,223
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,738	781

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	28,297	57,850	36,813	122,961
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,153	728	807	13,689
計	40,450	58,578	37,621	136,650
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	2,924	△1,200	2,185	3,909

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,909
セグメント間取引調整額	322
四半期連結損益計算書の営業利益	4,231

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	31,155	56,483	39,298	126,937
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,069	455	449	15,973
計	46,224	56,939	39,747	142,911
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	3,367	△1,686	1,732	3,414

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,414
セグメント間取引調整額	223
四半期連結損益計算書の営業利益	3,637